

各 位

会社名 株式会社 ア マ ナ
代表者名 代表取締役社長 進 藤 博 信
(コード番号 2402 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部門担当 田 中 和 人
TEL:03-3740-4011

平成26年12月期第2四半期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成26年2月17日に公表いたしました平成26年12月期第2四半期連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成26年12月期第2四半期連結業績予想と実績との差異(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円銭)
前回発表予想(A)	9,900	0	△75	△100	△20.11
今回発表実績(B)	9,435	△139	△228	△359	△72.22
増減額(B-A)	△464	△139	△153	△259	
増減率(%)	△4.7%	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年12月期第2四半期)	8,853	△45	△94	△157	△31.64

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間における売上高は、当初予想を464百万円下回る結果となりました。これは主として、エンタテインメント映像事業の売上について、上期に工事進行基準をもって売上計上を見込んでいた案件が下期納品時の売上計上となったほか、一部売上が下期にずれ込んだこと、及びビジュアル・コミュニケーション事業のストックフォト販売の計画未達によるものです。費用面においては当初計画を下回っており、売上高未達により、利益面の営業利益、経常利益を各々139百万円、153百万円押し下げ、四半期純利益においては、法人税等の計上に加わり、259百万円押し下げる結果となりました。

なお、エンタテインメント映像事業においては、通期では当初の計画達成を見込めることや、ビジュアル・コミュニケーション事業のコーポレートマーケットに向けたソリューション商材の拡販、クロスセル営業活動などが奏功していることから、通期業績予想の売上高は計画通り推移するものと考え、平成26年2月17日に公表した通期業績予想の変更は行っておりません。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料作成日現在で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上